

令和2年度 農福連携支援研修 自治体職員・普及指導員・JA職員向け

<受講対象者> 自治体職員、普及指導員、JA職員（営農指導員等）

<研修目的> 地域において農福連携を支援するうえで必要となる基本的知識を習得するとともに、支援のヒントとなる取組事例を知る。

- <研修のねらい>
- ・農福連携や障害者に関する施策の概略を知る。
 - ・農福連携の優良事例を知る。
 - ・農福連携の課題を把握し、それに対する解決策を考案する。

<受講定員> 12名

<研修実施場所> 農林水産研修所つくば館水戸ほ場（〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町5930-1）

<備考> 期間中に研修レポートを作成し、最終日に御提出いただきます。また、新型コロナウイルスの影響により中止・変更する場合があります。

時間割

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
10/19 (月)					受付 (13:15~14:00) 開講式・オリエンテーション	講義① (14:00~14:50) 農福連携に関する国の施策について 農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 ①	小休 講義② (14:55~15:45) 〃 〃 ②	休憩	講義③ (16:00~17:15) 実践事例報告① (施設外就労等を受け入れる農業者による取組) 農園チュラ ③		
10/20 (火)	講義④ (9:00~10:15) 実践事例報告② (施設外就労等をする障害福祉サービス事業所による取組) 合同会社 たけのこ ④	休憩	講義⑤ (10:30~11:45) 実践事例報告③ (特例子会社による取組) 帝人ソレイユ株式会社 ⑤	昼食	講義⑥ (12:45~14:00) 実践事例報告④ (医療・園芸療法の取組) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 ⑥	休憩	講義⑦ (14:15~15:35) 実践事例報告⑤ (自治体による取組) 島根県農業技術普及センター ⑦	休憩	講義⑧ (15:50~17:15) 実践事例報告⑥ (コーディネートの取組) NPO法人 長野県セルフセンター協議会 ⑧		
10/21 (水)	演習 (9:00~11:45) グループ演習 (農福連携の課題と解決策) 農林水産研修所			(11:45~12:10) 閉講式・作成研修レポート ⑨							

(敬称略)

講義詳細

研修科目	ねらいと内容	形態 時間(h,min)	講師等
① 農福連携に関する国の施策について	農福連携の概要、メリットと課題、取組パターン、農林水産省の施策を知る。	講義 0.50	農林水産省 農村振興局 都市農村交流課
② //	障害者雇用と就労系障害福祉サービスの仕組み、農福連携に関する厚生労働省の施策を知る。	講義 0.50	//
③ 実践事例報告① (施設外就労等を受け入れる農業者による取組)	施設外就労・施設外支援を受け入れる農業者による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	農園チュラ
④ 実践事例報告② (施設外就労等をする障害福祉サービス事業所による取組)	施設外就労・施設外支援・作業持込み等をする障害福祉サービス事業所による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	合同会社 たけのこ
⑤ 実践事例報告③ (特例子会社による取組)	特例子会社による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	帝人ソレイコ株式会社
⑥ 実践事例報告④ (医療・園芸療法の取組)	医療・園芸療法の取組を題材として、農作業のメリットとその医学的裏付けを知る。	講義 1.15	東京大学 大学院農学生命科学研究科
⑦ 実践事例報告⑤ (自治体による取組)	自治体による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.20	島根県農業技術普及センター
⑧ 実践事例報告⑥ (コーディネート取組)	コーディネート取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.20	NPO法人 長野県セルフセンター協議会
グループ演習 (農福連携の課題と解決策)	農福連携の課題を理解し、それに対する解決策を考案する。	演習 2.25	農林水産研修所

(敬称略)

令和2年度 農福連携支援研修 障害福祉サービス事業所職員向け（第1回）

- ＜受講対象者＞ 障害福祉サービス事業所の職員（管理者、サービス管理責任者、職業指導員、生活支援員等）
- ＜研修目的＞ 事業所において農福連携を実施するうえで必要となる基本的知識を習得するとともに、実施のヒントとなる取組事例を知る。
- ＜研修のねらい＞
- ・農福連携や障害者に関する施策の概略を知る。
 - ・農福連携の優良事例を知る。
 - ・農福連携の課題を把握し、それに対する解決策を考案する。
- ＜受講定員＞ 12名
- ＜研修実施場所＞ 農林水産研修所つくば館水戸ほ場（〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町5930-1）
- ＜備考＞ 期間中に研修レポートを作成し、最終日に御提出いただきます。また、新型コロナウイルスの影響により中止・変更する場合があります。

時間割

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
11/10 (火)					受付	開講式・オリエンテーション (13:15~14:00)	講義① (14:00~14:50) 農福連携に関する国の施策について 農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 ①	講義② (14:55~15:45) 〃 〃 ②	講義③ (16:00~17:15) 実践事例報告① (施設外就労等をする障害福祉サービス事業所による取組) NPO法人 地域で楽しく暮らすネットワーク ③		
11/11 (水)	講義④ (9:00~10:15) 実践事例報告② (単独で農業生産を行う障害福祉サービス事業所による取組) 一般社団法人 Agricola ④	休憩	講義⑤ (10:30~11:45) 実践事例報告③ (自ら農業法人を設立した取組) NPO法人 多摩草むらの会 ⑤	昼食	講義⑥ (12:45~14:00) 実践事例報告④ (医療・園芸療法の取組) 東京都健康長寿医療センター研究所 ⑥	休憩	講義⑦ (14:15~15:35) 実践事例報告⑤ (コーディネート取組) 株式会社 笠間農園 ⑦	休憩	講義⑧ (15:50~17:15) 基礎講義A (農作業と農業経営について) 農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 (生産局 技術普及課) ⑧		
11/12 (木)	演習 (9:00~11:45) グループ演習 (農福連携の課題と解決策) 農林水産研修所			(11:45~12:10) 閉講式・作成研修レポート ⑨							

(敬称略)

講義詳細

研修科目	ねらいと内容	形態 時間(h,min)	講師等
① 農福連携に関する国の施策について	農福連携の概要、メリットと課題、取組パターン、農林水産省の施策を知る。	講義 0.50	農林水産省 農村振興局 都市農村交流課
② //	障害者雇用と就労系障害福祉サービスの仕組み、農福連携に関する厚生労働省の施策を知る。	講義 0.50	//
③ 実践事例報告① (施設外就労等をする障害福祉サービス事業所による取組)	施設外就労・施設外支援・作業持込み等をする障害福祉サービス事業所による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	NPO法人 地域で楽しく暮らすネットワーク
④ 実践事例報告② (単独で農業生産を行う障害福祉サービス事業所による取組)	単独で農業生産を行う障害福祉サービス事業所による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	一般社団法人 Agricola
⑤ 実践事例報告③ (自ら農業法人を設立した取組)	自ら農業法人を設立した取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	NPO法人 多摩草むらの会
⑥ 実践事例報告④ (医療・園芸療法の取組)	医療・園芸療法の取組を題材として、農作業のメリットとその医学的裏付けを知る。	講義 1.15	東京都健康長寿医療センター研究所
⑦ 実践事例報告⑤ (コーディネートの取組)	コーディネートの取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.20	株式会社 笠間農園
⑧ 基礎講義A (農作業と農業経営について)	農作業の流れとそれぞれの工程、農業経営の基礎を知る。 *「農福連携技術支援者育成研修」テキストを活用。	講義 1.20	農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 (生産局 技術普及課)
グループ演習 (農福連携の課題と解決策)	農福連携の課題を理解し、それに対する解決策を考案する。	演習 2.25	農林水産研修所

(敬称略)

令和2年度 農福連携支援研修 障害福祉サービス事業所職員向け（第2回）

- <受講対象者> 障害福祉サービス事業所の職員（管理者、サービス管理責任者、職業指導員、生活支援員等）
 <研修目的> 事業所において農福連携を実施するうえで必要となる基本的知識を習得するとともに、実施のヒントとなる取組事例を知る。
 <研修のねらい>
 - ・農福連携や障害者に関する施策の概略を知る。
 - ・農福連携の優良事例を知る。
 - ・農福連携の課題を把握し、それに対する解決策を考案する。
 <受講定員> 12名
 <研修実施場所> 農林水産研修所つくば館水戸ほ場（〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町5930-1）
 <備考> 期間中に研修レポートを作成し、最終日に御提出いただきます。また、新型コロナウイルスの影響により中止・変更する場合があります。

時間割

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
12/14 (月)					受付	開講式・オリエンテーション (13:15~14:00)	講義① (14:00~14:50) 農福連携に関する国の施策について 農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 ①	講義② (14:55~15:45) 〃 〃 ②	講義③ (16:00~17:15) 実践事例報告① (施設外就労等をする障害福祉サービス事業所による取組) NPO法人 地域で楽しく暮らすネットワーク ③		
12/15 (火)	講義④ (9:00~10:15) 実践事例報告② (単独で農業生産を行う障害福祉サービス事業所による取組) 一般社団法人 Agricola ④	休憩	講義⑤ (10:30~11:45) 実践事例報告③ (自ら農業法人を設立した取組) NPO法人 多摩草むらの会 ⑤	昼食	講義⑥ (12:45~14:00) 実践事例報告④ (医療・園芸療法の取組) 農研機構 西日本農業研究センター ⑥	休憩	講義⑦ (14:15~15:35) 実践事例報告⑤ (コーディネート取組) 株式会社 笠間農園 ⑦	休憩	講義⑧ (15:50~17:15) 基礎講義A (農作業と農業経営について) 農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 (生産局 技術普及課) ⑧		
12/16 (水)	演習 (9:00~11:45) グループ演習 (農福連携の課題と解決策) 農林水産研修所 ⑨			(11:45~12:10) 閉講式・作成研修レポート							

(敬称略)

講義詳細

研修科目	ねらいと内容	形態 時間(h,min)	講師等
① 農福連携に関する国の施策について	農福連携の概要、メリットと課題、取組パターン、農林水産省の施策を知る。	講義 0.50	農林水産省 農村振興局 都市農村交流課
② //	障害者雇用と就労系障害福祉サービスの仕組み、農福連携に関する厚生労働省の施策を知る。	講義 0.50	//
③ 実践事例報告① (施設外就労等をする障害福祉サービス事業所による取組)	施設外就労・施設外支援・作業持込み等をする障害福祉サービス事業所による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	NPO法人 地域で楽しく暮らすネットワーク
④ 実践事例報告② (単独で農業生産を行う障害福祉サービス事業所による取組)	単独で農業生産を行う障害福祉サービス事業所による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	一般社団法人 Agricola
⑤ 実践事例報告③ (自ら農業法人を設立した取組)	自ら農業法人を設立した取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	NPO法人 多摩草むらの会
⑥ 実践事例報告④ (医療・園芸療法の取組)	医療・園芸療法の取組を題材として、農作業のメリットとその医学的裏付けを知る。	講義 1.15	農研機構 西日本農業研究センター
⑦ 実践事例報告⑤ (コーディネートの取組)	コーディネートの取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.20	株式会社 笠間農園
⑧ 基礎講義A (農作業と農業経営について)	農作業の流れとそれぞれの工程、農業経営の基礎を知る。 *「農福連携技術支援者育成研修」テキストを活用。	講義 1.20	農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 (生産局 技術普及課)
グループ演習 (農福連携の課題と解決策)	農福連携の課題を理解し、それに対する解決策を考案する。	演習 2.25	農林水産研修所

(敬称略)

令和2年度 農福連携支援研修 農業者向け

- <受講対象者> 農業者、法人農家の構成員、農事組合法人の構成員
- <研修目的> 農業者が農福連携を実施するうえで必要となる基本的知識を習得するとともに、実施のヒントとなる取組事例を知る。
- <研修のねらい>
- ・農福連携や障害者に関する施策の概略を知る。
 - ・農福連携の優良事例を知る。
 - ・農福連携の課題を把握し、それに対する解決策を考案する。
- <受講定員> 12名
- <研修実施場所> 農林水産研修所つくば館水戸ほ場（〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町5930-1）
- <備考> 期間中に研修レポートを作成し、最終日に御提出いただきます。また、新型コロナウイルスの影響により中止・変更する場合があります。

時間割

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
2/15 (月)					受付	開講式・オリエンテーション (13:15~14:00)	講義① (14:00~14:50) 農福連携に関する国の施策について 農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 ①	講義② (14:55~15:45) 〃 〃 ②	講義③ (16:00~17:15) 実践事例報告① (施設外就労等を受け入れる農業者による取組) 農園チュラ ③		
2/16 (火)	講義④ (9:00~10:15) 実践事例報告② (障害者を直接雇用する農業者による取組) 京丸園 株式会社 ④	休憩	講義⑤ (10:30~11:45) 実践事例報告③ (自ら障害福祉サービス事業所を立ち上げた農業者による取組) 株式会社 おおもり農園 ⑤	昼食	講義⑥ (12:45~14:00) 実践事例報告④ (医療・園芸療法の取組) 農研機構 西日本農業研究センター ⑥	休憩	講義⑦ (14:15~15:35) 実践事例報告⑤ (コーディネート取組) NPO法人 長野県セルフセンター協議会 ⑦	休憩	講義⑧ (15:50~17:15) 基礎講義B (障害特性と職業的課題の基礎) 東洋大学 社会学部 社会福祉学科 ⑧		
2/17 (水)	演習 (9:00~11:45) グループ演習 (農福連携の課題と解決策) 農林水産研修所 ⑨			(11:45~12:10) 閉講式・作成研修レポート							

(敬称略)

講義詳細

研修科目	ねらいと内容	形態 時間(h,min)	講師等
① 農福連携に関する国の施策について	農福連携の概要、メリットと課題、取組パターン、農林水産省の施策を知る。	講義 0.50	農林水産省 農村振興局 都市農村交流課
② //	障害者雇用と就労系障害福祉サービスの仕組み、農福連携に関する厚生労働省の施策を知る。	講義 0.50	//
③ 実践事例報告① (施設外就労等を受け入れる農業者による取組)	施設外就労・施設外支援等により農作業を請け負ってもらった農業者による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	農園チュラ
④ 実践事例報告② (障害者を直接雇用する農業者による取組)	障害者を直接雇用する農業者による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	京丸園 株式会社
⑤ 実践事例報告③ (自ら障害福祉サービス事業所を立ち上げた農業者による取組)	自ら障害福祉サービス事業所を立ち上げた農業者による取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.15	株式会社 おおもり農園
⑥ 実践事例報告④ (医療・園芸療法の取組)	医療・園芸療法の取組を題材として、農作業のメリットとその医学的裏付けを知る。	講義 1.15	農研機構 西日本農業研究センター
⑦ 実践事例報告⑤ (コーディネートの取組)	コーディネートの取組を題材として、取組の進め方・メリット・留意点を知る。	講義 1.20	NPO法人 長野県セルフセンター協議会
⑧ 基礎講義B (障害特性と職業的課題の基礎)	障害特性と農作業における職業的課題の基礎を知る。 *「農福連携技術支援者育成研修」テキストを活用。	講義 1.20	東洋大学 社会学部 社会福祉学科
グループ演習 (農福連携の課題と解決策)	農福連携の課題を理解し、それに対する解決策を考案する。	演習 2.25	農林水産研修所

(敬称略)